

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0069-1 景観整備事業					01	02	01	06	122	03
	基本施策	29	伊賀市らしい景観を守り、活かす	所属	700100	大山田支所振興課	連絡先(記入者) 西崎 剛人 47 - 1150					

概要	事業概要	平成4年度から始まった地域づくり景観整備事業の物的財産や人的財産がある。この財産を次代へと引継ぎ、さらなる住民主体の地域づくりの発展を目的に市民、地域づくりグループ、住民自治協議会の交流の場として、シンポジウムを毎年開催している。ゆめさき会は、平成19年度に行政から独立した団体である。協働で今後もシンポジウムを開催し、交流の場を提供していく必要がある。						事業期間 平成 4 年度 ~ 平成 年度					
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号 15				
	対象(誰を、何を)	地域の住民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	過去に実施した景観整備の内容を維持管理し、次世代に引継ぎ地域の実情の応じたまちづくりを推進する。											
H24実施内容	地域景観シンポジウムの開催 大山田地域づくりに関する活動報告(冊子)の作成及び発行 いぶし瓦の常夜灯及びサイン灯の維持管理												

指標	活動指標	シンポジウム開催数	回	実績値				目標値		説明
				H23	H24	H25	H26			
	目標	1.0	目標	1.0	1.0	1.0				
	実績	1.0	実績	1.0						
成果指標	シンポジウム参加者数	人	目標	50.0	目標	50.0	50.0	50.0	シンポジウムの参加者数は、住民主体の地域づくりに取り組む数に比例すると考えられる	
			実績	50.0	実績	50.0				

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料									
		国費(補助率)									
		県費(補助率)									
		地方債 その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	事業費	報償費	70	70	70	70	70	70	70	
		消耗品費	1	7	13	13	13	13	13	13	
		印刷製本費	25	25	23	23	23	23	23	23	
		光熱水費	348	372	372	372	372	372	372	372	
		修繕料	84	0	66	66	66	66	66	66	
		小計(B)	528	474	544	544	544	544	544	544	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
		人件費	568	578	578	578	578	578	578	578	
臨時・嘱託・再雇用職員		人数	人	人	人	人	人	人	人		
人件費	568	578	578	578	578	578	578	578			
小計(C)	568	578	578	578	578	578	578	578			
合計(D=(B+C))	1,096	1,052	1,122	1,122	1,122	1,122	1,122	1,122	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	1,096	1,052	1,122	1,122	1,122	1,122	1,122	1,122		
	※前年度比	—	△ 45	70	0	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額											

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
景観向上のためのシンポジウムが開催できなくなり、大山田で行ってきた景観整備事業の成果等を次世代に引き継ぐ機会が減少する。	やや遅れ	シンポジウムの開催を住民自治協議会主導で行えていない。	
関与の妥当性	協働の状況など 山田地域住民自治協議会と視察研修や景観向上の活動をしている。		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)		
昨年度記載した改善策	景観整備事業シンポジウムの開催について、自治協の環境部会を交えて協議をする場を設け、事務作業を移行していく。常夜灯の日常維持管理については、区で行うという覚書を交わしているが、器具の大きな破損等が生じた場合は市で修繕を行っているため、修繕等に係る予算の確保が必要である。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 ゆめさき会と山田自治協議会の合同で2つ事業を行ったが、大山田管内には3つの自治協議会があり、景観整備事業を実施するのは自治協の環境部会が適当だと思うが、3地域が1つになり事業を行うまでにはいたっていない。
現時点における課題及び課題に対する改善策	大山田地域の3住民自治協議会で、シンポジウムを開催できるようにしていく。そのため、ゆめさき会と住民自治協議会との協働を進めていく。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	西口敏之	手法改善	事業内容は現状維持とし、シンポジウムの実施を住民自治協議会が主体となり行うよう進める。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	02	01	06	122	03
	事業名	0069-2 景観整備事業(いぶし瓦の常夜灯維持管理経費)	所属	700100	大山田支所振興課	連絡先(記入者)						
	基本施策	29 伊賀市らしい景観を守り、活かす	西崎 剛人 47 - 1150									

概要	事業概要	大山田財産区特別会計から一般会計へ繰入れ、自治会が維持管理する常夜灯の年間電気料の一部を助成する。 助成額=(12月の常夜灯の電気料-12月の街路灯の電気料)×12ヶ月×常夜灯の灯数						事業期間 平成 21 年度 ~ 平成 年度			
	根拠法令・要綱等	伊賀市大山田地域常夜灯維持管理経費補助金交付要綱			審議会・委員会等						
	補助金支出	有 ※支出“有”の場合要綱を記入 伊賀市大山田地域常夜灯維持管理経費補助金交付要綱						分掌事務番号 15			
	対象(誰を、何を)	いぶし瓦の常夜灯の維持管理を行う自治会			※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値	
	成果(どうする)	常夜灯の電気料を助成することで、自治会の負担が軽減される。 常夜灯の点灯により夜間の景観が改善される。						地区	22	22	22

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	常夜灯維持管理経費助成金	円	目標 531,000	実績 528,624	目標 531,000	実績 558,912	555,000	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料								
		国費(補助率)								
		県費(補助率)								
		地方債								
		その他	529	559	555	555	555	555	555	大山田財産区特別会計から一般会計へ繰入れ。
		合計(A)	529	559	555	555	555	555	555	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	常夜灯維持管理経費助成金	529	559	555	555	555	555	555	電気代積算 常夜灯の電気代から街路灯の電気代を引き、その差額分を維持管理経費補助金として交付する。 (875円-233円)×72本×12ヶ月=554,688円 ※予算要求時は72本で積算した。
		その他事務経費								
小計(B)		529	559	555	555	555	555	555	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費		人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費		人件費	284	289	289	289	289	289	289	
	合計(D=(B+C))	813	848	844	844	844	844	844	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	284	289	289	289	289	289	289		
	うち繰越金 ※前年度比	—	5	0	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	電気代の補助がなくなれば、地区で支払う電気代が負担となり、日常の維持管理を市で行う必要が生じる。	(概ね)順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
※委託内容及び委託先の存在			
昨年度記載した改善策	電気料金により予算額が増減されるため、予算の確保が必要である。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 財源は大山田財産区特別会計から一般会計へ繰り入れているので、特別会計の収入状況を確認する。
現時点における課題及び課題に対する改善策	常夜灯の電球のナトリウム灯の価格は1万円を超え、また施設自体も設置からの年数が長いため、器具の不具合等が発生し自治会の維持管理負担が大きくなり地区要望がある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	西口敏之	現状維持	大山田地域の特色ある景観を維持管理していくために、事業内容は現状維持とする。